

# CLI を使用して Cisco Unified Contact Center Express ログを集めて下さい

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[検索/ビュー/ダウンロードは UCCX から記録します](#)

[検索ログ](#)

[ログを調べて下さい](#)

[ログをダウンロードして下さい](#)

[リアルタイム ログを調べて下さい](#)

[例](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料はコマンド・ライン Interface ( CLI ) を使用して統一されたコンタクトセンター Express ( UCCX ) からログを見つけ、調べ、ダウンロードするためにプロシージャを記述したものです。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

### /UCCX /

セキュア Shell ( SSH ) によって CLI から UCCX ログを見つけ、調べ、ダウンロードするコマンドは次:

## 検索ログ

構文 :

ファイル リスト{activelog | inactivelog | install | partBsalog | salog | tftp}ファイル spec [オプション]

ファイル spec: 表示すべき必須ファイル  
オプション: Optional ページ|detail|反転|[日付|サイズ]

- ページ表示 Output One 画面一度に。
- detail — 日時が付いている長いリスト
- 反転—逆並べ替えの方向
- date —日付までに種類
- サイズ—ファイルサイズによる並べ替え

例 :

```
admin:file list activelog / detail
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> audit
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> ccm_db
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> cm
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> core
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> cuic
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> desktop
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> dp_db
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> mgetty
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> patches
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> platform
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> sa
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> sso
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> syslog
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> tomcat
15 Sep,2016 09:07:48 <dir> uccx
```

## ログを調べて下さい

構文 :

ファイル ビュー{activelog|inactivelog|インストール}ファイル spec

表示すべきファイル spec 必須ファイル

ファイル spec は単一 ファイルに解決する必要があります

## ダウンロード ログ

構文 :

ファイルは得ます{activelog|inactivelog|インストール}ファイル spec [オプション]

転送すべきファイル spec 必須ファイル

オプション オプションの reltime 月|週|幾日|時間|分 timevalue

abstime hh: mm: MM/DD/YY hh: mm: MM/DD/YY

一致 regex

繰り返します

圧縮

- **retime** — 一分として規定される相対的な時間 | 時間 | 幾日 | 週 | 値月の
- **abstime** — *hh*として規定される絶対時間: *mm: MM/DD/YY hh: mm: MM/DD/YY*
- **match** — 文字列型の値として規定されたファイル名の特定のストリングを一致する
- **繰り返します** — サブディレクトリを含むすべてのファイルを、得て下さい
- オプションを ZIP にされた形式のファイルをダウンロードすることを許可します圧縮して下さい。

注: 外部セキュア ファイル転送プロトコル ( SFTP ) サーバが設定され、アクセス可能であることをファイルをダウンロードするために、確認して下さい。

ヒント : すべてのサブディレクトリおよびファイルのためのディレクトリを横断することを許可しますオプションは**繰り返します**。これはディレクトリからのすべてのログを引っ張りたいと思う場合使用されます。

## リアルタイム ログを調べて下さい

コマンドを使用できます: CLI の現在文書によるログイン リアルタイムを得るために**ファイルを開く regex <logfile-expression-to-match>** を示して下さい。この方式はライブを解決して役立ちます-書かれる現在のログをメモリに調べ、次に CLI から調査のためにそれに応じて ( ダウンロード ) そのファイルを後につくか、表示するまたは得ることができます。

コマンドはログ ファイル名と一致する正規表現を一致することができます ( 解決することを再生されたライブである場合もある許可します ) の問題をリアルタイム。

例 :

1. リアルタイムの問題を再生する間、現在のログを得るか、または調べるために Appadmin のエラーを解決して下さい

**ファイルを開く regex MADM** を示して下さい

ワーキング ディレクトリ /uccx/log/MADM/ <file.log> からその現用 ファイルのパスをコピーして下さい

```
admin:show open files regex MADM
Executing.. please wait.
tomcat 29349 tomcat 729w REG 8,6 1905330 5640852 /common/log/taos-log-
b/uccx/log/MADM/Cisco001MADM076.log
```

```
admin:file view activelog /uccx/log/MADM/Cisco001MADM076.log
admin:file get activelog /uccx/log/MADM/Cisco001MADM076.logadmin:show open files regex MADM
Executing.. please wait.
tomcat 29349 tomcat 729w REG 8,6 1905330 5640852 /common/log/taos-log-
b/uccx/log/MADM/Cisco001MADM076.log
```

```
admin:file view activelog /uccx/log/MADM/Cisco001MADM076.log
```

```
admin:file get activelog /uccx/log/MADM/Cisco001MADM076.log
```

2. リアルタイムの問題を再生する間、スクリプトのステップによるエンジンの接続失敗で問題を解決して下さい

ファイルを開く **regex MIVR** を示して下さい

ワーキング ディレクトリ `/uccx/log/MIVR/ <file.log>` からその現用 ファイルのパスをコピーして下さい

3. リアルタイムの問題を再生する間、Finesse か CUIC で問題を解決して下さい

Finesse -ファイルを開く **regex デスクトップwebservice** を示して下さい

CUIC -ファイルを開く **regex CCBU-cuic** を示して下さい

## 例

これらのコマンドがどのようにの使用されるか少数の例はここにあります:

- Finesse Tomcat : **activelog /desktop/finesse/logs/catalina.out**
- Finesse Tomcat : **activelog /desktop/finesse/logs/catalina.out**
- Finesse : **activelog /desktop**
- : **/system-history.log**

注: 「/」必要としません。代替策: **ファイル ビュー インストール system-history.log** は同様にはたります

- NTP : **activelog /syslog/sd\_ntp.log**
- VOS sysmastersysutilssysusersysadminsystcdrdb\_phx\_configcuic\_dataccm\_X\_Y\_Z\_aaaa\_bb: **activelog /cm/log/informix/ccm.log**
- UCCX MIVR: **activelog /uccx/log/MIVR**
- : **activelog /**
- UCCxPackets UCCX : **activelog /platform/cli/UCCxPackets.cap**
- servm : **activelog /platform/log/servm \*.log**

## 関連情報

- [Cisco Unified Contact Center Express のためのコマンドライン インターフェース レファレンスガイド](#)